

道路占用工事等による復旧範囲基準

上尾市都市整備部建設管理課

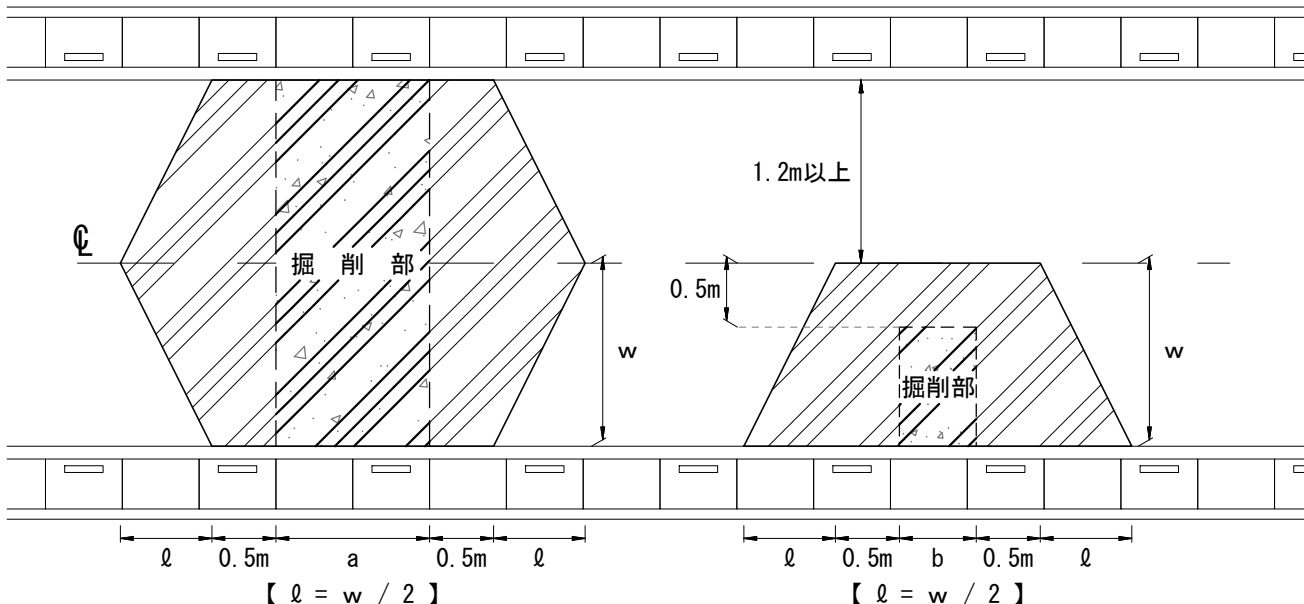
舗装道の舗装復旧範囲は、道路を施工前と同等の機能構造に回復させるために、掘削又は仮復旧の路盤部分を、原形に復旧するための条件幅として加える範囲とする。

ただし、住居が集合している地域や病院又は学校の周辺、その他の道路交通振動を防止する必要があると認められる地域内、または占用工事により道路の構造に影響を与えてしまう場合は、範囲を超えて復旧するものとする。

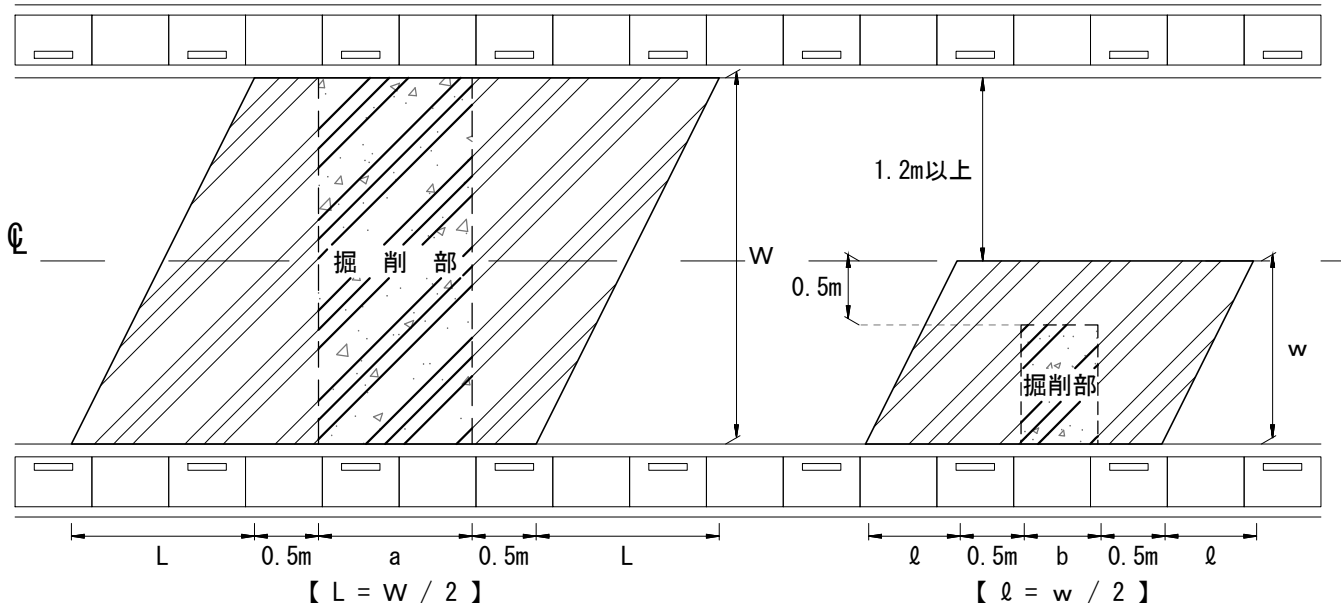
また、復旧の施工端から舗装絶縁線までの距離が1.2m未満（歩道については0.8m未満）の場合は、当該部分を含めて復旧すること。


【車道舗装道】

■舗装道の復旧範囲図①（標準復旧範囲、幅員4.0m以上）



■舗装道の復旧範囲図②（その他の復旧範囲、主に幅員が狭い場合等で使用）



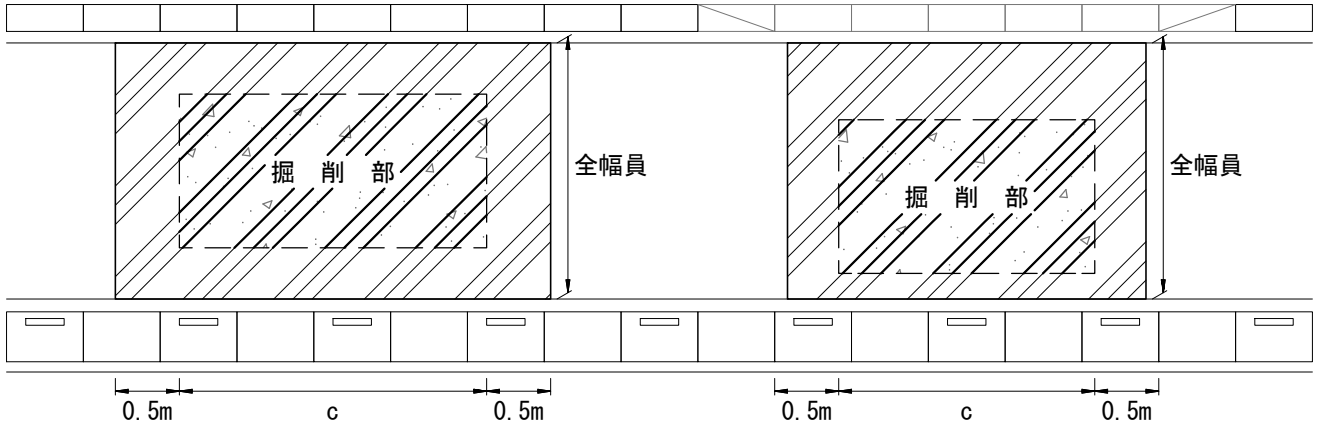
 舗装復旧範囲

【歩 道】

■歩道の復旧範囲図①

[一般部]

[車両乗入れ部]



■歩道の復旧範囲図② (広幅員歩道の場合の特例)

[一般部]

[車両乗入れ部]

